



学校だより

11月号

2014年10月31日
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

身近な体験からの広がり

副校長 西尾 武泰

私は子どものころ、公園に集まっては野球をしていました。何気にみていた雲の動きが同じ方向に動いているのが気になり、次の日も雲を観察し、その動きに興味をもちました。

5年生の時、理科の天気図の学習で低気圧の動き方を習いました。その時に、私の見ていた雲の動きと低気圧の動き方が「同じだ。」と分かったときの感動は今でも覚えています。まるで私の目線が宇宙からの目線になったようで、私と宇宙のつながりを感じました。それから理科が好きになり、私の興味は雲の動きから気象へ、そして地球の内部までと、どんどん広がっていきました。自分の体験が学習とつながり興味が広がっていったのです。

私たち教師は、分かり易い授業をするために日々教材研究をしています。先日行った宿泊体験や全校遠足なども、とてもよい教材となります。例えば4・5年生が足柄で作ったカレーも、薪で火をおこし、ご飯も鍋で炊きあげました。その体験は、たくさんの教科の教材へと広がっていくことが出来ます。それをコーディネートするのも教材研究の一つなのです。授業中に子どもたちの頭の中で「そういう事って自分の生活体験の中でもあるなあ。」「だから勉強って楽しいなあ。」という思いの子が増えるように、勉強の秋がさらに充実するようにしていきたいと考えています。

今月もよろしくお願ひいたします。

